

『佐倉市長賞』

成田高等学校付属中学校三年 奥村 眞理子

税金が支える私の健康と未来

私は、エビ、クルマミ、ピーナッツのアレルギーとアトピー性皮膚炎を持っています。アレルギーは命に関わるがあるので、いつも「エピペン」という緊急用の注射を持ち歩いています。また、アレルギーやアトピーの治療のために毎月病院に通い、毎月薬を飲んでいきます。あるとき、アレルギーがどれほど深刻かを調べるために、実際に病院でエビを食べる検査入院をしました。また、エピペンの正しい使い方を学ぶために、別の入院も経験しました。

これらの治療や検査には、多くの医療費がかかります。普通に支払うと、私の家庭には大きな負担になるのですが、佐倉市の子ども医療費助成制度のおかげで、私たちは安心して治療を受けることができます。この制度のおかげで、私が病院に通うたびにかかる費用は一回二百円、入院も一日二百円で済み、薬の費用もかかりません。

最近、私は父から、医療費助成が佐倉市の税金で支えられていることを知りました。父は毎月、給料から住民税や所得税がたくさん引かれていると話していて、大変だと言っていました。それが私の医療費を助けてくれていることを知って、本当に助かっていると、言っていました。税金というものは、私たちの生活に大きな役割を果たしているのだと、改めて感じました。

税金は、国民一人ひとりが負担しなければならないものですが、そのお金がどのように使われているのかを考えると、みんなで支え合っていることがわかります。私の医療費が佐倉市の税金でまかなわれているように、他の人たちもまた、同じように税金で助けられています。例えば、学校の運営や道路の整備、公共施設の維持など、私たちの身の回りには税金で支えられているものがたくさんあります。

私も将来、大人になって働くようになれば税金を納めることになるでしょう。そのとき今度は私が誰かを助ける側に回るのだと思うと、少し大人になった気がします。税金はただ支払うだけではなく、そのお金がどのように使われているかを理解し、感謝の気持ちを持つことが大切だと思います。

佐倉市の医療費助成制度のおかげで、私は安心して治療を受けることができ、普通の生活を送ることができています。これからも税金の大切さを忘れずに、自分の健康にも気をつけて過ごしていきたいと思います。そして将来は税金通じて社会に貢献できる大人になりたいです。